

平成20年度第3回府中市障害者等地域自立支援協議会 会議録

- 日 時：平成20年11月19日（火） 午後2時00分～3時10分
- 場 所：府中市役所 北庁舎3階 第4会議室
- 出席者：（敬称略）
 - <委員>
 - 桑田智、石見龍也、鈴木一成、崎尾義輔、田中淑雄、羽生朝子、吉村輝秋
 - <事務局>
 - 障害者福祉課長、障害者福祉課長補佐、障害者福祉課
- 議 事
 - 1 開会
 - 2 会議録について
 - 3 報告書の検討について
 - （1）相談支援事業の運営に関する事項について
 - （2）困難事例への対応のあり方に関する事項について
 - （3）地域の関係機関によるネットワーク構築に関する事項について
 - （4）府中市障害者等地域自立支援協議会のあり方について
 - 4 その他
- 資 料
 - 資料1 平成20年度第2回府中市障害者等地域自立支援協議会会議録（案）
 - 資料2 府中市障害者等地域自立支援協議会報告書（案）
 - 資料3 府中市障害者等地域自立支援協議会委員名簿

1 開会

事務局：本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。ただ今より、平成20年度第3回府中市障害者等地域自立支援協議会を始めさせていただきます。会議に先立ちまして、委員の交代のご報告をさせていただきます。資料3をご覧ください。9月1日付け人事異動で、東京都立府中朝日特別支援学校校長として、葛岡員が着任されたことに伴いまして、前任の雛倉委員から交代がございました。なお、本日は、美田委員、町田委員、葛岡委員から欠席のご連絡をいただいております。れでは、会長、よろしく申し上げます。

2 議事

会長：それでは、会議を始めます。本日は、傍聴の方はいらっしゃいますか。いらっしゃいましたら、お入りいただきください。

(傍聴者の入場)

(1) 会議録について

会長：議事1につきまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局から、資料1について説明)

会長：説明が終わりました。資料1について、何かご意見、ご質問等はございますか。よろしいでしょうか。それでは、資料のとおり会議録として公開してください。よろしく申し上げます。

(2) 府中市障害者等地域自立支援協議会報告書(案)について

会長：議事2につきまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局から、資料2について説明)

会長：説明が終わりました。ご質問等はございますか。

副会長：定例会・運営会議は、毎月開催となっておりますが、圏域を設定するかどうかも報告書に盛り込んだ方がいいのかなと思います。市内には指定相談支援事業所が3箇所ありますので、定例会・運営会議も3つ設置するのかどうか、この点について議論の余地はあると思います。

事務局：現在、指定相談支援事業所が集まって連絡会を開催していきまして、その会議形式を活用していきたいと考えています。そこで個別支援会議から把握される問題点もみ

えてくると思います。

副 会 長：そうすると、定例会・運営会議は1つ設置ということですね。

事 務 局：指定相談事業所毎に設置するとまとめるのが大変になるのではないかと思います。

副 会 長：今後、指定相談事業所の数が増えた場合はまた考えていくということですかね。

事 務 局：個別支援会議から上がる問題点などが膨大になるようでしたら増やす方向になるのではないと思いますが、最初は1箇所にしたと考えております。

副 会 長：では、個別支援会議の開催についてですが、独自に関係機関に声をかけて集めるのでしょうか。

事 務 局：それは各事例に際して、適切な関係機関を集めていただくものと考えております。

副 会 長：会議の持ち方ですが、各事業所で難しい問題があったときに、どこに声かけするかは会議を持つ事業所が考えるのでしょうか。独自に会議を開催していいのか、それを個別支援会議と呼んで、全体会なり定例会なりに了解を取る形式になるのでしょうか。

事 務 局：どのような人に集まってもらうのかは相談を受けているところでないとは分からないのではないかと思います。

副 会 長：個別支援会議というか、ケース会議というものでしたら、現在でも行っています。こうした会議についても記録として残していったほうが良いのでしょうか。今後はそういったものを記録に残して、それを運営会議に上げていくことになるのでしょうか。

事 務 局：必ず記録をつけていかなければならないというものではないと思います。個別支援会議を実施し、関係機関が集まってみて、解決されたのであれば、報告を上げる必要はないと思いますし、新しい事例など、解決が困難な場合は、ボトムアップの報告が必要だと思います。

委 員：全体会は新サービスの構築を提言する場で、個別支援会議は今のケース会議のイメージだと思います。そこで、現在の社会資源では足りないというような場合や新しいサービスを構築する必要性などがあった場合は、定例会・運営会議を経由し、全体会で議論されるものだと思います。

委 員：組織の具体案の記述を逆にしたほうが分かりやすいのではないのでしょうか。個別支援会議、専門委員会、定例会・運営会議、全体会の順のほうが理解しやすいように思います。

事 務 局：個別支援会議から直接専門委員会に報告を上げるような仕組みですと、議論の舵取りをする場がなくなってしまうのではないのでしょうか。

副 会 長：専門委員会の位置付けはこのままで良いのではないのでしょうか。定例会・運営会議で困難事例を検討して、対応できない問題を全体会に報告する。そこにいくまでに専門委員会にて議論するという流れがわかりやすいのではないかと思います。

委 員：個別支援会議から専門委員会に直接報告を上げる方法にするのであれば、専門委員会があらかじめ立ちあがっていなければいけないのではないのでしょうか。

そこで、どちらが動きやすいかというところがポイントになると思います。

先に専門委員会としてあらかじめ委員を選定して、各委員を確定させておくよりは必要に応じてその都度、専門の方を招いて専門委員会を開催した方が弾力的な運営ができると思います。

委員：そういったことでしたら、事務局案のままで良いと思います。ただ、将来的にはいろいろな専門部会が出来たほうが良いと思います。

副会長：やってみないと分からない部分があると思いますので、両方のやり方でやってみるわけにはいかないでしょうか。そうすると、余計わかりにくくなってしまいますかね。

事務局：就労支援に関する事例のように、個別支援会議にも専門的な人に参加してもらってよいと思います。専門委員会は集中的に検討する会議というイメージで認識しております。個別支援会議などひとつひとつのケース会議に全て専門的な分野においても対応させようとするのは無理があるのではないのでしょうか。

委員：確か8月に市の方にも入っていただいた就労支援の個別支援会議と呼べるようなケース会議がありましたが、就労支援というよりも生活面からの支援が必要なケースであり、現在、府中市では設置されていませんが、専門委員会にて検討することが必要なケースだったと言えるのではないかと思います。

副会長：事例によっては、個別支援会議から専門委員会につなげる方が適切と言えるようなケースもあるのだと思います。

委員：今の段階で、就労支援や地域生活など個々にいろいろあると思いますが、府中市の中で専門的に検討するために、どのようなニーズがあるのかがまだ把握できていないように思います。

副会長：現実的にやってみないと分からない部分が多分にあると思います。

報告書としてはこの案でまとめておいて、運営しながら、また適宜考えていければよいと思います。

会長：とりあえず、この方向で進めていき、適宜、修正をしていくということによろしいでしょうか。

委員：指定相談支援事業所を通さなくても、作業所レベルの個別支援会議はあります。ここで把握した課題を地域自立支援協議会にどう活かせるのか、つなげていくのかが問題だと思います。精神の場合、指定相談支援事業所であるプラザが入った会議であれば問題ないと思いますが、プラザなど指定相談支援事業所を通さない個別支援会議もあるわけですから、個別支援会議という枠組みは示しておかないと、事業所としては自立支援協議会を上手く活用できないと思います。例えば、困難事例の場合は3箇所の指定相談支援事業所が入れば個別支援会議となり、自立支援協議会という場につながる、というような仕組みについて地域の方にお示しする必要があると思います。これは報告書を提出してから先の話になると思いますが。

委員：地域自立支援協議会が機能し、困難事例が解決していくとよいと思います。また、

障害があるために様々な困難を持っている人が積極的に相談にいかけて、解決できたらよいと思います。

会 長：皆様、いろいろなご意見ありがとうございました。事務局としては、どうお考えですか。

事 務 局：本協議会に作業所や家族会をどうつなげていくかが課題であると認識しております。地域自立支援協議会については、どう進めていくべきか、各市とも苦勞していると伺っています。皆様からの貴重なご意見を頂戴しながら、報告書の作成について進めてまいりましたが、実際には協議会を運営しながらより良い会議にしていきたいと思っております。皆様のお力をお借りしながら、障害のある人が安心して地域で暮らせるように、核となる会議にしたいと考えております。

会 長：ひととおり質疑応答は終わることができました。他に何かございますか。

委 員：来年度の予定、スケジュールはどのようになっているのでしょうか。

事 務 局：現在のところ未定ですが、皆様からいただく報告書にもとづき、これから検討してまいります。

会 長：よろしいでしょうか。資料2をもとに、今日の会議と今月末までにいただいたご意見を反映させながら、正副会長及び事務局とで報告書として調整し、最終的な報告書として取りまとめたいうえで、1月に市長へ提出する予定でおります。

(3) その他

事 務 局：本来ですと、会議録は次回の会議にてご確認いただき、公開となりますが、今回は今年度最後になりますので、事務局より会議録（案）を皆様のお手元にお送りし、ご確認いただいたうえで公開という手続きとさせていただきますので、予めご了承ください。

会 長：他に何かございませんか。ないようでしたら、これで、平成20年度第3回府中市障害者等地域自立支援協議会会議を終了いたします。皆様、お疲れ様でした。

以上